

新しい学びの形が示す未来とは
日本コスモトピアが自立学習学会を開催

教育界一体となつた取り組みを

(神戸市立本多聞中学校校長)、長谷川陽子氏(情報教育アナリスト、しまねSOH

（ケイアイエス株式会社代表取締役社長）、そして下向氏の4人と、モデレーターに、玉置崇氏（岐阜聖徳学園大学教育学部教授）を迎え、自立学習の現場に立つそれぞれの意見を交わしながら活発な議論が繰り広げられた。

「授業以外は家庭学習だ」と
 らえ、現在起こっている学習格
 差がさらに広がると、学校だけ
 では対処が難しい」と福本氏。

長谷川氏は、「課題設定は、生徒たちのポテンシャルによつて変わり、ファシリテートをどうするのが大事になってくる」と言い、「塾

八木氏は「特に高齢者の場合は、例えば趣味を発表できる場であったり、自分の話を聞いてもらえる場であったり、それぞれ居心地のいい場所を早く作ってあげることが重要」と自身が関わる高齢者向けパソコン教室を例に出して意見を述べた。

下向氏は、学校でできる範囲、子供の能力、家庭環境がまずある。その次のステップを学習塾が担っていた「きたい」と語った。

登壇者の口々から学校、私塾、生涯学習教室、地域が一体となることの必要性が語られた。



日本コスモトピアの下向峰子社長